

『 城北中H 2 9 年度の取組羅針盤 』

1 城北中学校区のめざす子ども像

じっくり考え、はっきり表現し、
くり返し粘り強く挑戦する児童・生徒（JHK）

2 城北中学校のめざす生徒像

- ① 夢や目標を持ち、自ら考え学ぶ意欲的な生徒
- ② 主体的に活動し、ルールや時間を守る生徒
- ③ 豊かな心を持ち、人を大切にする生徒

3 学校教育目標

生徒の主体性を育み、一人一人の願いをかなえる城北教育

4 研究主題

主体的な学びの創造～自ら考え学ぶ授業づくりを通して～

5 城北中学校が育成をめざす資質・能力

福山市	21世紀型“スキル&倫理観”			
広島県	知識・情報	スキル	意欲・態度	価値観・倫理観
次期学習指導要領	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	
本校が育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学ぶ力 他者とのかかわる力	社会貢献力 自己形成力
《 設定した資質・能力について特に身に付けさせたい力 》				
知	①学習したことを自ら語れる力			
思	①根拠をもとに、正しい判断をする力 ②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 ③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力			
主	①自ら課題を見だし、解決しようとする力			
他	①他者と協力（協働）し、課題を解決しようとする力 ②他者とのかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力			
課	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力			
自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力			

6 城北中学校がめざす授業の姿

- ①自ら関心・意欲を持って課題を発見し、解決法を考えられるような導入の工夫をしている。【知】
- ②課題解決に向け、自らの考えをまとめるために個人でじっくり考えることができるよう時間の確保や手立てが講じられている。【思】
- ③グループやペア等の活動を通して、協力して課題解決に臨んだり、他者の考えをもとに自らの考えを広げたり深めたりする場面が設定されている。【主】
- ④地域の課題に自ら目を向け、自分にできることはないかを考え行動化させている。【他】
- ⑤振り返りでは、学習過程における成長を評価するとともに、更なる追究課題を見いださせている。【課】
- ⑥学んだ知識や技能について、文章でまとめさせている。【自】

7 研究概要

(1) 研究仮説

主体的な学びの創造を目指した、単元開発・授業改善を行えば、本校が育成を目指す資質・能力を育むことができ、学力向上につながるであろう。

(2) 取組の重点

- 主体的な学びの創造《教科編》
 - ①単元開発（全職員：1単元以上の開発・改善）
単元開発における4つの視点
 - ・単元の終末を見据えたパフォーマンス評価の作成
 - ・単元の終末を見据えた単元の逆向き設計
 - ・「課題発見・解決学習」の6つの学習過程を踏まえた単元計画の作成
 - ・単元における資質・能力の育成とその評価
 - ②授業改善の取組
 - ・AL（主体的で、対話的で、深い学び）を視点とした校内研修を行う。【年2回校内研修予定】
 - ・ALor資質・能力を視点としたレポートの作成
- 主体的な学びの創造《総合的な学習の時間編》
 - ①全学年による全6単元の改善及び実践
 - ②前期単元・後期単元の校内実践交流【年1回校内研修予定】

(3) 取組の重点を支えるための取組

- ①全般に係る取組
 - ・資質・能力育成のための年間計画のブラッシュアップ【年2回校内研修予定】
 - ・パイロット教員による理論研修【年3回校内研修予定】
- ②教科等に係る取組
 - ・教科主任会による意識の共有化（年数回実施予定）
 - ・教科構想シートのブラッシュアップ（年2回教科会）・【年1回校内研修予定】
- ③総合的な学習の時間に係る取組
 - ・総合担当者会による単元計画協議会
 - ・単元工程表（校内用）の作成
 - ・ワークシート等資料の管理（時系列に整理）

8 H28年度 学力調査・意識調査等

表1 基礎・基本

H28	本校	福山	広島	県差
国語	77.3	68.4	69.7	7.6
国Ⅰ	78.0	70.8	71.8	6.2
国Ⅱ	74.2	58.2	60.6	13.6
数学	71.6	64.7	66.8	4.8
数Ⅰ	75.2	68.0	69.6	5.6
数Ⅱ	59.3	53.7	57.3	2
理科	55.1	50.0	51.8	3.3
理Ⅰ	59.1	53.3	54.4	4.7
理Ⅱ	49.8	45.6	48.3	1.5
英語	73.0	67.0	69.6	3.4
英Ⅰ	75.2	70.3	72.6	2.6
英Ⅱ	61.0	48.6	53.0	8

表2 全国・学力

H28	本校	広島	全国	県差
国語A	75.0	76.6	75.6	-1.6
国語B	63.9	67.9	66.5	-4
数学A	59.1	62.1	62.2	-3
数学B	40.4	44.8	44.1	-4.4

表3 CRTテスト

1年	教科 学年	国語	社会	数学	理科	英語
	65.1	67.9	64	66.5	73.9	
全国	62.4	61.3	54.7	67.7	63.3	
全国比	104	111	117	98	117	
2年	教科 学年	国語	社会	数学	理科	英語
	67	65.1	65.8	69.1	64.8	
全国	63.9	62.6	58.3	64.9	57.6	
全国比	105	104	113	106	113	

表4 意識調査（※特に課題があるもの）

肯定的評価 70%未満の項目	考えられる理由
・課題を解決するための情報の収集の仕方を知っており、進んで調べようとしています。【情報の収集】	主体的に学ぶための教師の手立てが不十分である。課題解決のための道具（材料）をしっかりと与えてない。
・授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。【整理・分析】	文章のみでまとめさせる活動が多い。図や表、グラフを用いることのよさを実感させていない。
・授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。【まとめ・創造・表現】	自分の考えをしっかりと交流する場を設定していない。または、生徒の発言を評価していない。
・授業では、実際にモノを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。【その他】	学習した事が、日常や自分とつながりのあるものに関連させるような活用問題に取り組ませていない。

9 H29年度「学びの変革」に係る評価指標

- ①「基礎・基本」定着状況調査、県差昨年度比 +3.0%以上
- ②全国・学力学習状況調査、全国差 +3.0%以上
- ③CRT（1・2年生）全教科全国差 +5.0%以上
- ④生徒アンケート（「課題発見・解決学習」「総合的な学習の時間」「学習意欲・学習態度」に係る項目）
本校肯定的評価平均 80.0%以上
- ⑤生徒アンケート（授業に係る項目）
本校肯定的評価平均 80.0%以上

10 H29年度の研究授業に係る研修計画（全職員）

日 程	研修名	教科等
6月15日（木）	ブロック研修・研究授業	理科・美術科
7月6日（木）	校内研修・研究授業	英語科・音楽科
9月21日（木）	校区合同研修会・研究授業	社会科・体育科
10月6日（金）	公開研究会・分科会・全体会	総合各学年＋教科
10月12日（木）	ブロック研修・研究授業	数学科・知的
12月7日（木）	ブロック研修・研究授業	国語科
2月8日（木）	ブロック研修・研究授業	社会科・家庭科